

会 議 録

1 会議名

平成29年度第6回保倉区地域協議会

2 議題

【協議事項】

平成30年度地域活動支援事業について（公開）

3 開催日時

平成30年1月31日（水）午後6時00分から午後6時55分

4 開催場所

上越市立保倉地区公民館

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員： 宮川和市（会長）、吉川善一（副会長）、池田つえ子、大堀幸子、
佐野和明、中島厚、早津輝雄、松林剛、丸山隆夫、山岸功、吉田一枝、
渡邊良禎

・事務局： 北部まちづくりセンター：滝澤センター長、荒木係長、千田主事

8 発言の内容

【滝澤センター長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【宮川会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認：池田委員、大堀委員に依頼

議題【協議事項】平成30年度地域活動支援事業について、事務局へ説明を求める。

【千田主事】

- ・資料No.1「平成30年度地域活動支援事業案の概要」、
資料No.2「平成30年度地域活動支援事業 保倉区の採択方針等について(案)」に基づき説明

説明会には多くの団体から参加いただきたいと考えている。例年、町内会長や地域活動支援事業の提案団体に声掛けをしているが、他にも、地域で活動している団体があると思うので、御紹介いただきたい。

また、3月中を相談期間としており、ぜひ委員からもたくさんの人に声を掛けていただきたい。センター職員が団体の集まり等に出向き、制度を説明することも可能なので、そのような機会があれば教えていただきたい。

本日は、平成30年度の募集開始にむけ、保倉区の採択方針等を協議・決定していただきたい。

【宮川会長】

それでは、採択方針から順に決定していきたいと思う。来年度の方針をどのようにすべきか意見をいただきたい。

○採択方針：資料No.2のとおり、昨年度と同様とすることで委員の賛同を得る

○周知方法：資料No.2のとおり、昨年度と同様とすることで委員の賛同を得る

○補助率等：資料No.2のとおり、昨年度と同様とすることで委員の賛同を得る

○審査方法：資料No.2のとおり、昨年度と同様とすることで委員の賛同を得る

○その他：資料No.2のとおり、昨年度と同様とすることで委員の賛同を得る

それでは、平成30年度地域活動支援事業の採択方針については、以上のとおり決定とする。

【千田主事】

3月16日(金)に開催する地域活動支援事業の募集説明会で事例発表を行っていたが、発表団体について推薦いただきたい。

【宮川会長】

追加募集で採択した「青野芸能保存会」の「青野『剣の舞』復活事業」については、地元が取組を始めていたので、何とか応援できないかというところから提案に至ったが、今、いろいろな地域で昔のものを掘り起こす取組が行われている。

当団体から発表をお願いできないかと思うがどうか。

【早津委員】

新しい取組としては「青野『剣の舞』復活事業」が良いと思うが、継続して行っている上吉野池の保全事業について、賛成多数で採択したが異論があったことも事実なので、実績報告も含めて説明してもらえれば良いのではないかと。

【宮川会長】

何年も継続して行っている事業のため、その効果等も含めて報告していただくのも良いかと思う。皆さんはどうか。

【渡邊委員】

発想や取組については良かったと思っているが、地域活動支援事業費補助金を活用し、事業を行ったことで課題がすべて解決しました、ということは現状を考えるとと言えないのではないかと。現在、池に水を溜めておらず白鳥が飛来していない。白鳥はため池を探し、右往左往しているのが実態である。白鳥がいつもいるところにはいない、という地域の声が出ている中で団体から実績報告等の発表を受けるのはいかがなものかと思う。

【宮川会長】

地元からは、「水を溜めると池が壊れる」という意見や「せっかく直してくれたのだから現状を維持して大切にしていけば長持ちできるのではないかと」という意見もある。

渡邊委員が言うように、良いことも悪いことも含めて話をしてくださいと言っても、難しいところがあるかもしれない。池に水を溜めていない理由を知らない人は、何故、水を溜めないのか、溜めないから白鳥が来ない、と思っているかもしれない。上吉野池の付近を通る人たちの中で白鳥を楽しみにしている人もいる。

【吉川副会長】

確かにこれまでの補助額と現状を考えると難しい面もあると思う。

【渡邊委員】

この場での話し合いだけなら良いが、保倉区の住民や第三者もこれまでの補助額の経緯と池に水がない現状に疑問を持つのではないかと。金額が大きいから実績をきちんと発表したほうが良いということは分かるが、他にも地域活動支援事業を有効活用した事業があると思うので、それらの発表を検討してはどうか。

【宮川会長】

確かにそういう考え方もある。

2つほど発表団体を決めていただきたいが、「青野『剣の舞』復活事業」は、郷土芸能を掘り起し、後世に伝えるという貴重なもので良いのではないかと。

【中島委員】

私も「剣の舞」の事業に携わっているが、団体では、毎週火曜日と木曜日に小学校へ行き教えている。そして、青野地区全体での練習も行っているが、笛や太鼓の演奏の仕方を忘れてしまっており、どのように進めて行こうかと考えているところである。「剣の舞」の歴史等もインターネットで調べ、ようやく盛り上がってきている。是非若い人たちへも継承していきたいと思っている。

【宮川会長】

今年、保倉小学校の文化祭で「剣の舞」を踊ったが、衣装もきちんとすればグレードがもっと上がるし見栄えもすると感じた。小学生が踊りを覚えてくれれば次の世代へも繋がると思っており、輪が広がっていくのではないかと考えている。

発表団体の一つは、「青野『剣の舞』復活事業」を実施した「青野芸能保存会」にしたいと思うがよろしいか。

(異議なし)

もう一団体は、「保倉地区活性化事業」を実施した「つどいの会ほくら」にお願いしてはどうか。

「つどいの会ほくら」から市へお願いしている公民館のガス台の更新については、地域活動支援事業費補助金を活用することはできない。何か良い方法はないのか。

【滝澤センター長】

今年度「つどいの会ほくら」から行っていただいた事業は、とても盛況で評判も良かったと聞いている。これからより拡がりを目指していくためにも地域活動支援事業の募集説明会で発表していただければ、住民の皆さんからも理解してもらえるのではないかなと思う。

【大堀委員】

ガス台を更新してもらうためには、活動等を何回か行い使用頻度が増えれば説得力があると思っている。教育委員会で更新するための目安みたいなものがあれば教えていただきたい。

【渡邊委員】

教育委員会からの良い返答を待っていても、市全体での優先順位もあると思うので、更新に時間を要する。何か良い方法はないのか。

【滝澤センター長】

当案件については、大堀委員から相談され教育委員会へも話をした。平成25年度までは、市の施設の備品等についても地域活動支援事業の補助金を活用できた。しかし、平成26年度からは「市の執行事業」は、地域活動支援事業から除外したため、市の備品等の更新について当補助金を活用することができなくなった。

「つどいの会ほくら」が実施した事業については、団体が管理できる細かな備品については当補助金を活用していただいたが、ガス台については調理室に設置するため、当補助金は活用できないということになる。

市の予算で対応できるかについては、必要性、緊急性を考えながら対応していくことになるが、公民館についても、市全体の中で検討して整備していくものである。

平成30年度に地域活動支援事業の内容を検証する予定となっているので、今後、どのようにしていったら良いのかを検討していきたいと思っている。

【山岸委員】

私は公民館の運営委員をやっているが、ガス台に不具合がないかどうか業者の人と一緒に見させていただいた。ただ「壊れているから欲しい」と言うだけでは難しいと思っている。

保倉地区振興協議会で開催している体育大会や綱引きが終わった後の慰労会を公民館で行っている。その際、食生活改善推進員から調理室を使っていたが、今後も、いろいろな会で公民館を活用しようと話し合っている。そうした今年の活用実績のデータも検討材料として使っていただき、是非、ガス台を整備していただきたいと思っている。

【滝澤センター長】

教育委員会でも皆さんの意見は十分承知しており、それを踏まえて検討している。

【渡邊委員】

地域活動支援事業費補助金を活用し、ガス台を整備するというのは当事業の主旨から外れてしまうと思うが、山岸委員がおっしゃったことはとても良いことだし、是非そのような形で進めていただきたい。

保倉区の食文化を考えるサークル等があっても良いと思っており、その人たちに公民館を使用してもらうのも一つの方法だと思っている。その中で備品ということになると耐用年数が出てくる。何年以上経たなければ更新しないというのは備品の性格である。その辺はうまくクリアできる方法があると思っている。食文化を支えるためにこれだけ

のものが必要という施策は考えられると思うので、是非考慮していただきたい。

【滝澤センター長】

今後、検討する中で、できるだけ皆さんが使いやすいような補助制度であるようにしたいと考えている。

【宮川会長】

今の子ども達は昔からある郷土料理を見たことや食べたこともないということがあると思う。それらを伝える団体を掘り起こし、活動場所として公民館を活用いただきたいという思いもある。

公民館のPRや、食文化の件をどのような形で進めていくか、これから考えていきたいと思う。

- ・発表団体は「青野芸能保存会」と「つどいの会ほくら」にすることで委員から同意を得る

それでは以上で協議事項については終了とする。

【滝澤センター長】

3月16日（金）に地域活動支援事業の募集説明会を開催するが、できるだけ多くの人から参加していただきたいと思っている。委員の皆さんが関わっている団体や地域で何かやりたいということがあれば事務局へも教えていただきたい

【宮川会長】

次に「その他」について、事務局へ説明を求める。

【千田主事】

- ・次回協議会の事務局案：3月16日（金）

【宮川会長】

— 日程調整 —

- ・次回協議会：3月16日（金）午後5時30分から

【吉川副会長】

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 北部まちづくりセンター

TEL：025-531-1337

E-mail：hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。